

グラマトフィラム
の栽培管理方法



Gram. scriptum
'Hihimanu'

[植替え]

一般的に1年半～2年に1度冬季最低温度 13 以上保てる場合は、花後新芽が5mm～10mm 位伸長した時に3～5 バルブを1鉢として新しいプラ鉢にパーク、ペラボンで植えます。又冬季最低温度が5～10 位しか保てない場合は 13 以上になる春を待って植替えします。

その他、培養土(コンポスト)が痛んでいる時または根が痛んでいる時も植替えをすると好結果が得られます。

[置き場所]

冬.....最低 10-15 が保てる明るい室内。

春～秋(4月下旬～10月下旬)
室外の風通しのよい直射日光下。春室外に出す場合は曇天の日にだして慣らすと葉焼けしない。

仲間の品種

グラマトフィラム
スクリプタム
スクリプタム シトリナム
ヒヒマヌ
スクリプタム チグリナム

グラマンギス
エリシー

[性質]

グラマトフィラムは、東南アジア産の大型の原種で、ヒヒマヌは点が抜けたグリーン個体です。夏の暑い時期に咲き、花もちが良いことから、マニア向けから一般向けイの鉢物の定番になったものです。花を咲かせるには冬の高温が必要です。基本的にはシンビジューム、カトレアと同じで栽培できます。夏場のシンビジュームのような商品です。葉が薄くダニが着きやすので、葉にも水をかけて予防してください。

[肥料]

4月から6月に毎月1回置肥を与えます。液肥は4月から7月の間に毎週1度与えます。7月以降は窒素肥料は控えます。

また面倒な場合は5月に1度だけの置肥で良くできます。

温度があれば(15 以上)蕾の膨らむ時に液肥を与えると花が大きく咲きます。

[水]

冬.....最低温度が 10150 の場合は、コンポストがよく乾いてから暖かい日の午前中にぬるま湯を。

最低温度が 13 以上保てる場合は乾いたら灌水。又、室内が乾燥しやすい場合は1日2～3回の葉水が効果的です。

春～秋.....4月下旬～10月上旬は乾いたら充分に灌水。盛夏は1～2日に1回と夕方の葉水が効果的です。秋の彼岸以降は水を控えて行きます。

[お問い合わせは]

〒 441 - 3613
愛知県渥美郡渥美町大字古田
字原 66

スズキラン園

TEL 0531 32 - 0879
FAX 0531 - 32 - 1110

E-mail info@orchid.ne.jp

ホームページ

<http://orchid.ne.jp>

総合案内 [洋蘭.jp \(yoran.jp\)](http://yoran.jp)